

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

## 処遇改善へ前進！月1万円の給与アップ！ 区が保育士さんに

10月  
から

区議会第3回定例会で、保育士の処遇改善策や認証・無認可保育所の保育料補助を盛り込んだ補正予算が可決されました。(右記参照)すでに、10月から保育士さん等の給料アップが実現しています。

これは、待機児解消と同時に保育の質を守ることを求め続けてきた、共産党区議団と保護者・保育関係者の願いが大きく実ったものです。

区は待機児解消を区政の最重要課題として、今年度は保育所38施設2,211人分の増設を目指しています。しかし、保育士が不足のおり、区内でもその確保は大きな課題です。保育士さんの処遇改善は、保育士確保のみならず、保育の質の担保につながります。

国は「待機児解消」を名目に、子どもを詰め込んだり、保育者の資格や配置人数の基準を緩める等の規制緩和策をすすめています。保育の質の低下は、子どもの命と健康に直結します。区はこれまで、保育の質を守るため、条例とガイドラインをつくる等施策を進めてきました。これは、保護者に大きく評価されています。(囲み記事参照)

このたび、区が自治体として保育士の処遇改善に踏み出すことは、すべての保育施設の質の高い保育の実現への一歩です。さらに、認証・無認可保育所への保育料助成を行うことは、保護者への大きな支援となります。

### 補正予算で実現！

- ★ 保育士・看護師（常勤）に、一人当たり月1万円の支給！（予算：約1億4400万円）
- ★ 認証保育所・無認可保育所の保育料助成増額！（予算：約2億490万円）
- ★ 保育室への18年ぶりの補助金増額！（予算：5億5600万円）

## 「待機児アンケート」で明らかに 親の願いは、「保育の質を守ってほしい…」

区は今年度、待機児童となった保護者を対象に「待機児実態把握アンケート」（回答総数1285世帯）を実施。保護者が自由記載欄に書いた声を一部ご紹介いたします。

- ・世田谷区の保育に対する考え方（保育の質が第一）というものには共感する。保育者の人数やハード面の妥協はこれからはしないほしい。
- ・保育士などへの手当を今よりもっと厚くしてほしい。給料を上げる、休日を増やす、保育士の人数を増やす。保育の質は絶対に下げたはならない。
- ・待機児童が多い世田谷区では、単純に保育園を増やせばよいという問題ではなく、それと並行して保育の質、保育士への待遇の向上をしていかないと根本的な改善につながらないと思っています。
- ・無理な規制緩和などではなく、安心して子どもを預けられる質を確保した保育園を。



## 子育て世帯の国保料軽減を 日本共産党の提案受け、保坂区長が区長会で問題提起

国民健康保険の保険料（国保料）が毎年値上げされ、所得の低い家庭や多人数世帯の負担が大きくなっています。

会社員や公務員が入る健康保険（被用者保険）では、子どもなど扶養家族が増えても保険料は上がりません。しかし国保では収入のない子どもにも均等割（一人年間46,200円）が人数分かかります。子どもが3人いれば138,600円の均等割です。

### 保坂区長が区長会で問題提起

日本共産党は、区議会で、国保料負担が子育て世帯の負担となっていることを示し、繰り返し国保料の軽減を求めてきました。また、里吉ゆみ都議も出席した区長との定期協議の場で、議論を続けてきました。

今議会で、子どもの均等割の軽減を求めた日本共産党の質問に対し保坂区長は「特別区長会において多子世帯の算定のあり方が逆ではないか、検討すべきと意見を出している」と答弁しました。9月9日に開かれた特別区長会役員会で議論されたもので、他の役員からも“少子化対策に対して問題意識をもって取り組んできた”などの意見がありました。



江口じゅん子

## 聴覚障害者の権利保障を進めよー「区のお知らせ」を手話と字幕を付けた動画で配信を

全ての聴覚障害者への情報保障のため、「区のお知らせ」を手話と字幕を付けた動画で配信するよう求めました。区は「当事者のご意見を踏まえ、具体的な研究を進めていく」と答弁しました。さらに、「手話言語条例」制定を求めたのに対し、区長は「既に調査・検討を指示…実りあるものになりたい」と答弁しました。

## 精神障害者への「心身障害者福祉手当」の支給 区が来年度予算編成の中で「実施の枠組みを整理」と答弁

7月の福祉保健常任委員会で、世田谷区精神障害者家族会（3団体）から請願された「精神障害者への心身障害者福祉手当の支給に関する請願」が全会一致で採択されました。私はそれを踏まえ、区として、支給を行うことを求めました。



桜井みのる

## 三軒茶屋駅南口のエレベーター設置、11月から工事開始

田園都市線三軒茶屋駅南口のエレベーター設置は、今年11月から工事が始まります。区は2018年度にエレベーターの使用開始をすと明らかにしました。

## 世田谷清掃工場のガス化溶融炉は直ちに廃止せよ

世田谷清掃工場（平成20年度しゅん工）では、ダイオキシン漏れが頻繁に起こり、ごみ焼却のための年間の計画稼働日数を確保したことがありません。ダイオキシン漏れに対し周辺住民は不安の声をあげています。

23区清掃一部事務組合では、世田谷清掃工場の今後の対策を検討する委員会が立ち上げられ、その「報告書」を発表しました。「報告書」では今後20年間は使い続けることができる、としています。しかしこの間の経過から見ても、一刻も早いガス化溶融炉の廃止が必要と求めました。



たかじょう訓子

## 学校教育で精神保健を位置づけよ

精神疾患は10代から20代にかけて発病することが多く、重症化予防のためには早期発見、早期治療が決定的です。私は、学校教育の指針である、現在作成中の第2次教育ビジョン第2次行動計画に、精神保健を位置付けることを求めました。区は、「検討していく」と答弁しました。

## 区立経堂図書館の株式会社への指定管理者導入に反対

今議会で提案された、世田谷区立経堂図書館の指定管理者を株式会社（世田谷 TRC グループ）に指定する議案に反対しました。理由として1.本の貸し出し履歴など、重大な個人情報を守られるのか。2.無料が原則の図書館を株式会社が運営をすれば質の低下を招く懸念があることなどを指摘しました。日本共産党以外の賛成多数で採択されました。



中里光夫

## 下北沢の小田急線上部利用は公共的空間としての利用を

小田急線地下化にともなう上部利用は、区が使用する部分と小田急が使用する部分に別れますが、全体を公共的空間として整備することが大切です。区が使用する部分については、区と住民はワークショップなどを繰り返してきました。小田急が使用する部分についても、住民から保育園を作って欲しいなどの声が上がっています。区が住民の声を小田急に伝えるよう求めました。

## 就学援助の入学準備金の引き上げを

制服や体操着、カバン、上履き、水着など中学校の入学にかかる費用は約7万円から10万円弱かかります。（区教育委調査）しかし、就学援助の入学準備金は26,780円とあまりに少額です。党区議団は、来年3月から入学準備金の金額を引き上げるよう求めました。



村田義則

## 等々力駅～梅ヶ丘駅のバス路線が本格運行へ

昨年、東急バスが試験運行を行なった大井町線の等々力駅と梅ヶ丘駅間のバス路線が、来年1月から本格運行されることになりました。試験運行は日本共産党などの提案で世田谷区が補助金を出して実現したものです。同路線は区役所（区民会館）前に停車することから、区役所や区民会館へ交通も大変便利になります。

## 未耐震の木造住宅に耐震シェルター設置を急げ

耐震診断を受け未耐震と診断されても経済的理由などによって耐震補強工事に結びつかない事例に対して、耐震シェルターの設置を急げと質問しました。シェルターを設置することで、たとえ家が倒壊してもつぶれない部屋を確保することができます。区からの補助金を活用することで、個人負担ゼロで設置できるシェルターもあります。（4面をごらんください）

## 都独自の高校生向け奨学金検討へ

都議団は「給付型奨学金と学費負担軽減の拡充にむけた提案」を行いました。その内容は①給付型奨学金は、所得制限を高く設定するとともに、高校生活を送るのに必要な金額を支給すること、②私立高校生に対しては授業料だけでなく入学金や施設費なども軽減の対象となるようにすること、などです。

第三回定例会で日本共産党都議団の代表質問に対し「都独自の給付型奨学金について今後速やかに検討を進めてまいります」と小池知事は答弁しました。



里吉ゆみ

# 北朝鮮の核実験に抗議 核兵器廃絶の条約づくり署名にとりくめ 代表質問をした桜井みのる区議に聞く

Q 第3回定例会は、どういふ議会だったのでしょか

A 保坂区政の折り返しの年となる来年度予算に向けて、その最初の議論をする議会でした。

そして、保育の質の確保へ、補正予算が提案され可決されました。

Q 補正予算はどんな内容でしたか

A 補正予算は、保育士の処遇改善のために10月から月1万円の給与アップや運営費補助金の増額などが行われました。

この補正予算は、今年度の積極的な予算をさらに前にすすめるものとなりました。今年度予算は「保育園や高齢者介護施設などの積極的整備、子どもの貧困対策の推進など、区民のくらしと福祉を大切にすべく前向きな予算」「前区政で後退させられた特定健診、がん検診の無料化復活、就学援助の拡充、補助54号線の見直しなど、自民党区政からの転換をすすめるもの」と評価しました。

Q 高齢者の介護が話題となっていますね

A 国が要介護1、2を介護保険給付から外すことをねらっていますが、区議会では福祉用具貸与の見直しを求める意見書を決議しました。

また、保育士に続いて、介護士の処遇改善も求められます。介護職員の離職率が高く人材確保が難しい、低賃金と厳しい労働条件は介護の質にも直結します。質問で介護士の処遇改善が急務と求め、区は介護士の初任者研修費の充実や実務者研修費の助成を検討すると答弁しました。

また、介護施設では、区は小規模多機能型居宅介護をこの間9か所整備し、28年度予算でさらに6か所が整備される見通しと述べました。また、地域密着型特養ホームについては、3か所の整備の目途がたっていると答えました。

わが党は、出張所、まちづくりセンター毎の身近な地区で地域密着型特養ホームや小規模多機能型居宅介護の整備を求めています。地域のみなさんと力をあわせ一刻も早いすべての地区での整備実現に全力をつくします。



Q 保健師の確保も急務と聞きます

A 保健師の増員は、わが党が代表質問でとりあげたのをきっかけに、他党もとりあげることになりました。

7月からすべてのまちづくりセンターで、高齢者、障害者、子育て家庭などの相談窓口、地域包括ケアが始まりました。さらに、妊娠期からの子育て家庭を支える切れ目のない支援「世田谷版ネウボラ」がスタートしました。これらの政策をすすめるために保健師の確保が急務となっています。わが党の質問に対し区は「保健師の人材育成、人材確保に努めていく」と答えました。

Q 北朝鮮の核実験に抗議したのですね

A 全会一致で、北朝鮮の核実験及びミサイル発射に抗議する決議をあげました。同時に決議では、核兵器の廃絶をかがけています。

私は代表質問でも核兵器廃絶を訴えました。被ばく者が訴えてきた被ばくの実相は、核兵器が非人道的な殺りく兵器であることを世界に広げてきました。このことが核兵器禁止・廃絶の条約づくりの方向に国際政治を動かしています。

被ばく者が訴える核兵器禁止・廃絶条約の交渉開始を求める署名が4月から始まり、この署名は2020年のNPT再検討会議までに、世界で数億人を集めるとしています。この被ばく者の国際署名を区民に広めよとの質問に対し、保坂区長は「積極的に広げていきたい」と答弁しました。

## 共産・自民が「共同提案」

## 「北朝鮮の核実験及びミサイル発射に抗議する決議」を全会一致で可決

世田谷区議会は10月18日、表題の決議を、議長を除く全員が提出者となり全会一致で可決しました。

日本共産党は、区議会幹事長会で北朝鮮の暴挙に対し抗議する決議を提案すると表明していました。これに対し、後に自民党から「私たちから提案すべきであった」と申し入れがあり、協議して共産党と自民党の共同提案としてまとめられました。共産党と自民党の両幹事長と一緒に各会派を回り、賛同を呼びかけ、議長を除く全議員から議案提出者の署名を得ました。

# 大地震から命を守れ！

## 耐震シェルター設置費用助成制度の活用を！

区議団は、東京都が選定した9社の「耐震シェルター」の中の一つ、一条工務店の実験施設（静岡県浜松市）で「耐震シェルター」を視察しました。耐震シェルターとは、住宅全体の耐震性能はそのまま、大規模な地震の際に住宅が倒壊しても人命が損なわれることがないよう、家の中にシェルターを設ける方法です。住宅の防災対策は、耐震改修が最も効果的です。しかし、改修が必要となる住宅でも、経済的な理由で工事に踏み切れない世帯が多くあります。区議団は、比較的安価で設置でき、建物の倒壊から住民の命を守る「耐震シェルター」に着目しました。

### 視察ルポ・たかじょう訓子

今回の視察で、私の「耐震シェルター」のイメージはいい意味で覆されました。広さは、4畳半より少し狭めの、シングルベッドが2つが入る広さで、元々住宅メーカーですから、居住性は申し分なく、建て具も壁紙も住宅仕様、照明、コンセント、窓などもあり、普通の部屋と比べてもまったく遜色はありません。引越し不要で1～2日で設置できます。メーカーの担当者によると、全国で700棟の実績です。

しかも、このシェルターは設置費用を含めて25万円です。世田谷区は、30万を上限に耐震シェルター・耐震ベッド設置費用助成を行っているので、実質負担ゼロで設置できます。

5年半前の東日本大震災、今年4月の熊本地震、10月21日には鳥取県地震と大きな地震が続いています。

いつ起こるか分からない首都直下型地震から皆さんの命を守るために、大いに「耐震シェルター設置費用助成制度」を活用することをおすすめします。



倒壊した住宅と1階部分の耐震シェルター（実験写真）

### 耐震シェルター設置費用助成制度

世田谷区は、昭和56年5月以前に着工した木造住宅にお住まいの方に対し、地震時に自らの安全を確保するための耐震シェルター・耐震ベッドの設置費用の一部を助成しています。シェルター申請者が65歳以上か、身体障がい者手帳1,2級をお持ちの方で、所得が200万以下であるなどの要件を満たした方に対し、30万円を上限に助成を行います。（都が選定した9社の耐震シェルターに限定される）

## 区役所本庁舎整備

## 区が基本構想素案を発表

### 意見交換会やパブコメなどの区民意見の反映を

区は9月に「世田谷区本庁舎等整備基本構想（素案）」を発表し、区のお知らせ特集号を出し、意見交換会やパブリックコメントを行いました。これは、整備の基本的な考え方を示すもので、公募区民と専門家による「検討委員会」での議論をもとにつくられたものです。日本共産党は、区民参加の開かれた議論で検討されたこと、今後もすべての段階での区民参加をすすめることが表明されていることなど評価しています。また、区が今後進めていく上で、区民から寄せられた意見や、庁舎で働く職員の声をしっかり聞いて計画に反映させることを求めました。規模は総床面積53,000㎡、事業費410億円、2020年着工という計画が示されました。

### <世田谷区に対し、区民から寄せられた意見>

世田谷区は、パブリックコメントを9月8日から30日までの23日間、区民説明・意見交換会は各総合支所ごとに行われ、延べ403人、961件の意見が寄せられました。一部をご紹介します。

- ・豊洲、築地の公共工事などの轍を踏まないよう願います。
- ・庁舎整備に関する情報は全てガラスばりです。
- ・1階の良いところは区民のために。
- ・わかりやすい庁舎（どこにいけば〇〇できる）
- ・建物周辺のユニバーサルデザインを。障害者の声を取り入れて。
- ・災害時の障害者対策を。駐車場・駐輪場を十分にとってほしい。
- ・今の庁舎は暗い。明るい雰囲気になればいい。
- ・保育園など子どもを預けられる施設を。
- ・今の建物の「良さ」を残しつつ新しくする。
- ・材料を残す、懐かしい空間、空間の良さを残す。
- ・前川建築にこだわる必要はない。
- ・前川建築の考えを活かす改修案を希望します。
- ・工事の騒音考慮を。
- ・周辺の建物の高さの認識に違いあり。
- ・人口の増加と仕事量、職員数をどう見込んでいるのか。
- ・区民会館は音楽的に優れたホールを作って欲しい
- ・文化都市として自信を持てるような区民会館にして欲しい。
- ・財源と事業予算はどうなっているか。ムダにならないような使い方を。
- ・お金をかけずにスッキリとしたものを。
- ・総合支所の充実を
- ・5千人の職員の意識はどうか
- ・区民の意見をしっかり反映して欲しい